

歯周病は、歯周ポケット(歯と歯肉の間のすき間)に細菌が蓄積・増殖して生じる感染症です。まず歯肉に炎症が生じ、さらに進行すると歯を支える骨(歯槽骨)が溶けて歯が動き、最終的には歯が抜け落ちます。歯周病は40歳以上の8割を超える人がかかっており、最近では



健康 四国 七

徳島大大学院医歯薬学研究部

湯本 浩通 教授

糖尿病、動脈硬化、肺炎や早産といったさまざまな全身疾患と関連することが知られています。

歯肉のみに生じた炎症は、細菌の塊である歯垢を除去し、口の中を清潔な状態へ改善することで健康な歯肉を取り戻すことができます。しかし、歯垢が唾液中の成分と反応して歯石になると歯ブラシでは除去できず、さらに放置すると炎症がますますひどくなります。

歯周病治療の主体は、歯垢や歯石を除去し、細菌がたまりにくく清掃しやすい環境を整える処置です。場合により歯肉を切開して、歯周ポケットの奥深く

など見えづらい部分にある歯石を丁寧に除去する「フラップ手術」が行われますが、一度溶けてしまった骨を元通りに改善させることは困難です。

現在の医療分野の研究は急速に進展しており、特にiPS細胞に代表される再生医療の分野で活発に行われています。歯周病治療においても、新たな歯槽骨再生治療として薬剤「リグロス」(世界初・日本発)が開発され、厚生労働省の承認を得て、昨年12月より保険適応医薬品として大学病院を中心に多くの歯科医院で治療を受けられるようになりました。

油断できない歯周病 全身疾患と関連

この薬剤の主成分は、治癒を促進する「成長因子」と呼ばれるものです。患部に血管を新生し、歯周組織を構成する細胞群を活性化することで最終的に歯槽骨の再生が促されます。術式も「フラップ手術」の際に、薬剤を患部に注入するだけです。で、治療時間にはほとんど差はありません。

ただし、重度まで進行した歯周病や患者様の全身状態などにより、必ずしも全ての症例において有効であるとは限りません。診査や治療の可否については担当医にご相談下さい。